



"To acknowledge the duty that accompanies every right"  
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

## THE Y'S MEN'S CLUB OF OSAKA -

c/o YMCA INTERNATIONAL PROGRAM CENTER  
 Dojima Grand Bldg., 1-5-17  
 Dojima Kita-ku Osaka 530 JAPAN  
 PHONE (06)344-1717

# CENTENNIAL

Jun, 1983

I-9

### THEME (1982~'83)

- I.P. OPPORTUNITIES  
 THROUGH PARTNERSHIP  
 R.D. GOOD WORK  
 WITH GOOD HEARTS  
 D.G. 全員参加でワイズにパワーをノ  
 メネットも共に  
 P. ONWARD CENTENNIAL

#### IP-elect 次期国際会長に竹内敏朗氏が選ばれる。

現アジア地域会長、竹内敏朗氏(熱海クラブ所属)は、このたび1983年~'84年次期国際会長に選ばれた。国際憲法第五条の定めによって'84~'85年には自動的にIPに就任される。これはわれらが鈴木謙介書記('75~'76 IP)に続いて、日本人として二人目の国際的榮譽であり、心よりおよろこび申し上げると共に、ご活躍を祈りましょう。又、出身母体日本区の一員として、会長ご活躍の支えとなるよう一層の発展と充実を期するものである。

#### 6月例会・プログラム

とき	6月15日(水)	18:30~20:30
ところ	YMCA国際・社会奉仕センター	
	司会	平田 雅利君
1. 開会		山中 会長
2. ワイズソング		一 同
3. ゲスト紹介		山中 会長
4. 食前感謝	晩さん	
5. 役員会報告		山中 会長
6. ゲストスピーチ	大阪北 YMCAリーダ	平野 裕一君
	「サラワク・ワークキャンプから学んだこと」	
7. アジア大会報告		大会出席者
8. 誕生日のお祝い		
9. ニコニコ・アワー		
10. 委員長報告・YMCAニュース		
11. 閉会		
	○例会当番(岡本、谷川、平田、松本、山田)	

#### ◇誕生日おめでとう

大野 啓子	メネット	6月 1日
鈴木 美藤	メネット	6月 4日
長安 敏夫	君	1936年6月 8日
横山 豊	君	1947年6月13日
平田由喜子	メネット	6月20日
平田 雅利	君	1943年6月25日
黒田 俊子	メネット	6月26日

Jesus said to them, "Have you never read in the Scriptures:  
 "The stone the builders rejected has become the capstone;  
 the Lord has done this,  
 and it is marvelous in our eyes?"

イエスは言った。「聖書にこう書いてあるのを、まだ読んだことがないのか 家を建てる者の捨てた石、これがかなめ石となった。これは主がなさったことで、我々には不思議に見える」。

(マタイオスによる福音 21章42節)

#### 5月例会 出席者〔在籍会員 37名〕

	第1例会	第2例会	Make up	集 計
メ ン	14名	15名	9名	23名
出席率	37.84%			62.16%
メネット	5名			
コメット				
ゲスト	2名			
ヴィンター				
合 計	21名	15名		

- ゲスト 菊池二郎氏、岩田洋一氏
- メネット 黒田、中村、山田、山中、山村各メネット
- ニコニコ 14,500円(累計148,780円)

#### B F ポイントの成果

去る3月末日で集約し提出した、当クラブの切手ポイントは合計12,560ポイントに計上されました。これは中西部15クラブの中第7位に当り、初年度で途中参加としてはまずまずの成績。ご協力に感謝します。なお現金は70,000ポイントを送っており、合計したものが本年度のBFの成績になります。(BF委員 皆本)

#### 出席率への関心を

この所、転勤や出張などが重なり例会出席が低迷しています。一人の出欠が2.7%出席率を上げ下げします。第2例会や、近隣クラブ例会でメイキャップし、参加することの意味を一層高めるようにして下さい。他クラブの例会情報は会員名簿に出ています。(EMC委員 松崎)

〈鋭視野・ASIA〉

アジアの問いかけ、日本の課題（その3）

東京女子大学学長 隅谷 三喜男氏

日本人のアジア観

3番目は日本人のアジア観の問題です。戦前戦後を通じて日本人のアジア観は、中国に対して以外は変わっていないと思います。基本的に脱亜思想で、日本人の眼は欧米に向きアジアはほとんど視野にない。アジア問題について知識を持ち、理解している人は、非常に少数です。そのことは今に至るまで昔から変化していないわけです。アジアに住んでいる大勢の日本人も、その土地を向いてその国の人々を理解していこうという気はない。いつも日本を向いて、本社を向いて、いつ帰れるのかと思っている人がほとんどです。これは第二次世界大戦では大東亜共栄圏とかいいましたが、やはりアジアの人を友人として理解しようとしなかったことの結果だと思えます。

以上のようなことが重なりあって、日本人、日本に対する不信感が底流に根強く存在するわけです。そしてそれが教科書問題のようなことをきっかけにして、爆発したといえます。

（日本YMCA同盟国際協力委員会での特別講演録）

第10回アジア大会速報

5月21日～22日、台北市ライライ・シェラトンホテルにおいて「国際聯青社第十回亞洲大會」が開かれた。世界各地から550名、日本区からは110名が参加し盛會に終始した。わがセンテニアルからは、鈴木夫妻、安福副会長のほか谷川・中野・横山の計6名の諸君が出席された。詳しいレポートは次号に掲載の予定。

中西部IBCシンポジウム開かる

森 庄司

4月16日(土) 堂ビル清交社に於て、中西部IBCシンポジウムが行われ当クラブから鈴木・谷川・堀・中野・森が参加しました。内容は次の通りです。

第1部 5人のパネリストによるディスカッション

- 議題
1. IBCの基本概念
  2. メネットの働き
  3. IBC活動を如何にしてなすべきか。

第2部 出席者全員による質疑応答形式のディスカッション。

活発で盛り上った5時間もまたたく間に過ぎ、最後に中西部大岡主査のまとめを以て全員運動の認識と拡大を期して閉会となりました。

当クラブとしては全メンバーによるIBC運動の推進を図り、出来れば近い将来に有志により私達のブラザークラブであるハワイのNuuanu Clubへの親善訪問を実現させたいと思います。

今月の聖句によせて

黒田 厳之

かなめ石とは、その建物の礎石と呼ばれる最も大切な土台の石である。建築者がいらぬと思って捨てた石が、用途によっては、かえって別の建物の最も大切な土台石として役に立ったというたとえ話である。

これを私たちの身の廻りでおこることに例をとると、その社会で一見役に立たないと思われているような、弱い存在、あるいはいらぬように思われている人でも、用いようによっては実に大切な働きをする場合がある。だから、どのように小さく見えるような存在の人でも、その人でなければ果すことの出来ない大切な使命をもってこの世に生れてきたのであり、その意味で、誰でもお互いに相手の存在の意味を大切に考え、尊重しあって生きなければならない。基本的人権の尊重という民主主義の大原則は、キリストのこのような考え方から出発しているように思う。

メ ネット コー ナー

大阪クラブメネット会よりのお誘い

大阪クラブ遊上メネット会長より「ヨガの初歩」講習会のお誘いがありました。他クラブのメネットと交歓できるよいチャンスでもあります。是非のご参加をお勧めします。

と き 6月15日(水)午後1時30分～3時30分

ところ 「かたの健康会館」淀屋橋教室

大阪市東区北浜5丁目 淀屋橋今西ビル4階

(東京銀行西隣 美津濃裏) 電 06-204-4510

指 導 大阪クラブ 珠敷宏子メネット。

準 備 動きやすい服装をご持参下さい。(更衣室有) 昼食は早目に軽くして下さい。(昼抜き尚良)

その他 メン・メネット・コメット・リングお誘い合わせ下さい。病気の症状の有る方でも参加できます。幼児も遊べます。

連 絡 電話連絡網にて山中メネットまで。

メネットクラブの活動状況

去る3月に日本区から行われたアンケート集計によると「メネットクラブがある」と回答されたのは27クラブ。そのうち毎月定例会を持つのが9クラブ。他は年に数回の不定期で、回数は5～6回というところ。一回当りの出席人員はいろいろだが10～15名が平均的活動状況のようです。プログラム内容で目立つのは、バザーと講習会。続いてはパーティにハイキングが多いようです。その他BF整理、じゃがいも販売、地域ボランティア、IBC活動などメンの活動領域もカバーする積極的なプログラムも見られ、大いに啓発されるどころです。



• THE Y'S MEN'S CLUB OF OSAKA - CENTENNIAL •

ヌアヌ・ワイズメンズクラブ訪問記

中村 隆幸

3月25日に、大阪国際空港からハワイを目指してハネムーン旅行に出かけました。いろいろな事情で旅行ができず残念に思っていたところ、運よく時間的にも都合が付き、楽しい思い出を持つことができたことを神に感謝している次第であります。

さて、3月の例会だったと思いますが、ハワイ旅行の話をしたところ、鈴木氏、谷川氏から「現在ハワイのヌアヌクラブとの間でブラザークラブの話がすすんでいるので、ぜひヌアヌクラブを訪問するように」とすすめられました。また、田中氏よりヌアヌクラブのメンバーのリストを頂き、これは大変なことになったものだったと思ったものでした。

3月25日午前7時頃に、ホノルル空港へ到着しました。ちょうど雨があがったばかりで、涼しく感じました。ホテルのチェックイン迄時間があるため、市内観光に出かけ、午後からは、翌日の結婚式のための準備で貸衣裳屋さんへ出かけ、何か日本にいるような感じがしました。3月26日、教会での結婚式も無事に終り、あちらこちらと観光をしたり、ショッピングをするうちに、滞在日数は1日を残すのみとなった。

3月27日、我々二人の目的の一つであるヌアヌワイズメンズクラブ訪問の為に、どきどきしながら（私にとっては英語で電話をすることは、非常に困難な仕事であったのです。）ヌアヌYMCAへ電話をかけた。鈴木さんや田中さんから、ヌアヌYMCAには、日本語を話す人がおられると聞いていたので、どうぞ日本語を話せる人が電話口に出てくれるようにと念じながら待っていた。相手の声を聞いたとたんに、「日本語を話すことができますか」とたずねた。すると、「殆んど話すことができません」という返事に、がっかりしながらも、つたない英語でヌアヌクラブのメンバーの人と連絡をとる方法はないかとたずねた。幸運なことに、YMCAのスタッフで、さらにヌアヌクラブのメンバーであるPaul Kuramoto氏とすぐに連絡がついた。彼もまた、あまり日本語は話せないが、或る程度理解できるということなので少し安心をした。英語と日本語を混じえながら、ヌアヌクラブと当クラブの間で話題になっているブラザークラブに関して話をしたが、余り知らないようであった。しかしながら、会っていろいろと話をしたいということと3月28日に、YMCAで会いましょうという約束をして電話は終わった。



Mr. Ackman (右) Mr. Chaw (中) Mr. 中村 (左)

3月28日、タクシーでヌアヌYMCAへ行き、Paul Kuramoto氏を呼び出してもらったところ、彼は2人のメンバーと共にあらわれた。一人は会長のPeter Ackman氏で他の一人はAllan Chaw氏であった。型どおりに自己紹介をし、ブラザークラブに関する話をしたがうまくかみあわなかった。私の語学力の不足を痛切に感じ、困惑していたところ、谷川さんの名前を出して話をすると、内容が理解できたようであった。しかしながら、ヌアヌクラブ内のブラザークラブに関する話し合は余りすすんでいるようには思えなかった。私の方からは、大阪センチニアルクラブの生い立ちや、その名前の由来等を説明し、さらに現在のメンバー数やこれからの活動の方針を話した。そして当クラブのワッペン、チャーターナイトの時のプログラム、そして記念のスプーン（ワイズの印の刻まれたもの）を贈った。ヌアヌクラブは、現在、34名のメンバーが登録されておりアクティブな動きをしているようであったが、何分にも下手な英語のために十分な内容を聞くことはできなかった。そしてAckman氏もChaw氏も仕事の途中で抜け出して来られたために、残念ながら短時間の会合となってしまった。Ackman会長は、別れ際に、センチニアルクラブのメンバーの人々によく伝えて下さいと言い、さらにハワイへ来る時はぜひ、まえもって連絡を下さいと話して、残念そうに帰られました。その後Kuramoto氏は、我々をYMCAの見学案内して下さり本当に有意義な時間を過ごし、更に、何とか大役を果せて、安心して日本へ帰ることができると思った次第である。

ヌアヌクラブのブリテンの一部を御紹介致します。ハワイへ行く機会があれば、ぜひ、ヌアヌYMCAのPaul Kuramoto氏と連絡を取られれば、楽しいワイズメンの交流の時を過ごすことができると思います。

NUUANU Y'S UP VOL. VIII  
\*\*\*\*\*

**SURPRISE!! NUUANU CLUB HAS A BROTHER CLUB AFFILIATE IN JAPAN**

Our Brother Club search chairman, Larry Hiranaka, has spent a year in searching for a brother club and with regular communication with Kan H. Tanikawa of Kyoto, Japan, has come the word that we have a Japan affiliate club.

Kan has been recommending our club to the recently chartered OSAKA-CENTENNIAL CLUB, whose membership now numbers 36 members. The Osaka Club was chartered last September, 1982.

Peter Ackman (Nuuanu Club Pres.), Allan Chow and Paul Kuramoto had the most recent encounter with a member of the Osaka-Centennial Club. He is DR. NAKAMURA and his new wife YUKI, who were honeymooning in Hawaii. The meeting took place at the Nuuanu YMCA at which time Dr. Nakamura presented the club with their club's official patch and silver spoons with the Y's Men Int'l emblem. The Nuuanu Club reciprocated with some YMCA T-shirts and YMCA coffee mugs. Dr. Nakamura mentioned that he had met a Hawaii Y's man, Ray Seto, in Australia back in 1980! CONGRATULATIONS TO THE NEWLY WEDS AND MAHALO FOR YOUR GIFTS FROM JAPAN!!!

My Private Life ⑱

堀 利満君

A 1. 「マイ・ファミリー」

母、妻、腕白坊主3人(中1、小5、小3)の6人。

A 2. 「マイ・ホビー」

まわりの皆様は「仕事ダロウ」と言って下さいますがつまる所、「何と無趣味な男ナコトヨ」という意味と存じます。

A 3. 「マイ・タレント」

無芸大食の一語につきのデスクカナァ。ヤッパシ。

A 4. 「マイ・コレクション」

珍品でも逸品でも皆目ないのですが、間違いなく「コレクト」されていっとりますのはゴミとガラクタと家内の日本画。将来は高くなるかもデスゾ。

A 5. 「マイ・ワイズダム」

五里霧中——でも冷たい風にふと春の訪れを感じる時のように、何かウツクシーイものと期待しとります。

A 6. 「メネットからの証言」

「アータ、そんなに忙しい忙しいと言ってながら、又 W I S E なんてのに入ったんですって? S T U P I D ネ」——全然わかつたらんな、モウ。

何と内容のない「マイプライベートライフ」でしょう。だから筆が重くて、こんなに遅れてしまったのであります。

My Private Life ⑲

上月英子姉

A 1. 「マイ・ファミリー」

60ソオの母親と高校生の長男。それに名前だけでもあやかりたいと付けた駄犬のリッチがマイファミリー。

A 2. 「マイ・ホビー」

パソコン、ワープロは卒業してマネージメントを通じての人間学に興味を持って目下研修中。20年振りのゴルフも早くコンペに出られる腕前になりたいが、時間不足でこれは当分無理なようだ。

A 3. 「マイ・タレント」

若かりし頃暇にまかせて取った資格が簿記、経営管理士、宅建取引主任等。車はスピード狂で18才で練習を始め、試験場へ数回通って免許を取得。その後20余年ねずみ取りでスピード違反に引かかる以外は大した事故もなく、如何にバトカーに捕まらずにスピードを出すか、このスリルがたまらない。RX7かセリカに乗りたいところだが、年令を考えると息子にたしなめられてマークIIにした。夢はアウトバーンをボルシェですつとばすことだ。

A 4. 「マイ・コレクション」

こけし、箸袋、コインなど気の向いたものを気の向いた時に集めていたが整理が厄介なのと、欲しいという人があればあげてしまうので値打あるものは何もなし。

A 5. 「マイ・ワイズダム」

集まると税の話題に終始する同業者に囲まれて、話はツーカーだがいささかマンネリ。さゝやかな社会奉仕と異った分野で活躍される多くの知人を得、豊富な話題で語り合える魅力の場。

A 6. 「メネットからの証言」

特別に天国からメン(?)の登場……うるさい女房から解放されて清々している。税務交渉で税務署員と丁々発止と渡り合っている図は、こんな女を女房にした男の顔が見たいと思われそうで早く天国に来て良かったと思う。イヤ一人残して来たのでそうなったのかも知れないが……。たゞ息子と楽しくプロ野球や音楽の話に興じて、息子もすっかり親父を忘れてしまった様子を見ると少し早く来すぎたかなと、チョッピリ後悔もするがこの気楽さには代え難い。せいぜい長生きしてこちらへ押しかけるのは1日でも遅く願いたいものだ。

My Private Life ⑳

中村隆幸君

A 1. 「マイ・ファミリー」

昨年11月に結婚し、現在夫婦水入らずで暮しています。早く子供が欲しくて夫婦で頑張っていますが、こればかりはなりゆきにまかせる以外手はなさそうです。

A 2. 「マイ・ホビー」

ホビーというほどのものはありません。ワイフが観葉植物を買って来て以来、これに興味を持ち出しました。ホビーといえるか、ともかく大のタイガースファンです。ワイフにも野球の面白さを理解させて、トラキチにさせようと考えています。

A 3. 「マイ・タレント」

特にありません。

A 4. 「マイ・ワイズダム」

新しい人々、自分とは世界の違う人々と出会い、語り合いそして考え、共に行動する喜びを分かち与えてくれる場がワイズであると思います。

A 6. 「メネットからの証言」

休日、一日中家にいても全く手間のかゝらぬ人。家の些細な事に頓着しないのも夫としての長所。帰宅後の日課は観葉植物の手入れ。葉一枚、枝一枚にも注意して育てています。私にも「枝」があること忘れないで。

— YMCA ニュース —

△去る5月20日開催の大阪YMCA定期会員大会で信任投票の結果、当クラブの谷川寛さんが見事常議員に当選されました。およろこび申し上げますと共に今後のご活躍をお祈り申し上げます。

△シンガポールYMCAのスタッフ、ポビー・チャン君が研修のため大阪Yに来ています。同君は大阪YがシンガポールYのジャパニーズ・サービスセンターに送り出している瀬川健三主事のアシスタントですが、瀬川主事帰国後は同センターの後任者になる予定で大阪・神戸でそれぞれ2ヶ月研修することになっています。

△土佐堀新会館は去る4月21日から地上に姿を見せはじめています。一度に3階づつの建築が行われます。お近くにお立寄の節は、どうぞご覧下さい。

△当奉仕センター勤務でおなじみの斎藤千宏君が、財団法人国際協力推進協会主催の国際協力学術論文に応募し、見事第一席に選ばれました。詳しくは大阪青年5月号を。